



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

2018年3月期 決算補足資料

大陽日酸株式会社
2018年5月9日

目次

1. 2018年3月期 通期業績

- 1) 業績概要
- 2) セグメント別業績

2. 2019年3月期 通期業績予想

- 1) 通期業績予想
- 2) セグメント別業績予想

3. 参考資料

- 1) 非経常収益・費用明細
- 2) 重要経営指標（連結）
- 3) 業種別売上割合
- 4) 大陽日酸のガス供給体制



1 - 1. 業績概要

単位：億円	17/3月期 通期実績 利益率	18/3月期 通期実績 利益率	前期比 増減率	18/3月期 通期予想 (1/30発表) 利益率
売上収益	5,815	6,462	+647 +11.1%	6,350
コア営業利益	547 9.4%	600 9.3%	+53 +9.7%	600 9.4%
非経常損益	-10	-1	+9	0
営業利益	536 9.2%	598 9.3%	+62 +11.5%	600 9.4%
金融損益	-34	-39	-5	-40
税引前利益	501	558	+57	560
法人所得税	139	51	-88	60
当期利益	362	507	+145	500
(当期利益の帰属)				
親会社の所有者に帰属する当期利益	347 6.0%	489 7.6%	+142 40.8%	480 7.6%
非支配持分に帰属する当期利益	14	18	+4	20

● 為替換算の影響（USD→円）：前期通期レート 108.72円 当期通期レート 110.70円
→影響額 売上収益+ 68億円、コア営業利益+ 6億円

● 米国での税制改革法における連邦法人税率の引下げにより、米国子会社で繰延税金負債の取崩しが発生し、連結損益計算書における法人所得税が大幅に減少（当期 法人所得税 122億円減少）



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

1-1. 業績概要

【売上収益】

単位：億円	17/3期 通期実績	18/3期 通期実績	増減率	18/3期 通期予想 (2/5発表)
国内ガス事業	3,214	3,424	+6.5%	3,410
米国ガス事業	1,472	1,726	+17.2%	1,690
アジア・オセアニアガス事業	858	1,031	+20.1%	980
サーモス他事業	270	279	+3.5%	270
合計	5,815	6,462	+11.1%	6,350

【営業利益】

単位：億円	17/3期 通期実績	18/3期 通期実績	増減率	18/3期 通期予想 (2/5発表)
国内ガス事業	294	307	+4.4%	300
米国ガス事業	120	135	+12.3%	135
アジア・オセアニアガス事業	51	92	+78.8%	95
サーモス他事業	100	83	-16.5%	90
消去又は全社	-19	-18	-	-20
コア営業利益 計	547	600	+9.7%	600
非経常損益	-10	-1	-	0
営業利益 計	536	598	+11.5%	600



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

1-2. セグメント別業績：国内ガス事業

単位：億円			17/3月期 通期	18/3月期 通期	増減率
売上収益	産業ガス	バルク	763	802	+5.0%
		オンサイト	464	567	+22.3%
		パッケージガス	117	114	-2.1%
		ハードグッズ	232	236	+1.5%
		機器・プラント	417	407	-2.4%
		メディカル	234	235	+0.5%
		産業ガス 計	2,230	2,364	+6.0%
	エレクトロニクス	ガス	465	482	+3.5%
		機器・工事	246	260	+6.1%
		エレクトロニクス 計	711	743	+4.4%
	エネルギー	LPガス	242	288	+18.7%
		関連機器	29	29	+0.0%
		エネルギー 計	272	317	+16.6%
売上収益 合計			3,214	3,424	+6.5%
セグメント利益			294	307	+4.4%

売上収益増減要因

- ・ J F E サンソセンター倉敷工場の稼働開始
- ・ 炭酸ガス（主にバルクに計上）の価格改定
- ・ エレクトロニクス関連：電子材料ガスの販売が好調
- ・ L P ガス：輸入価格上昇の影響で販売価格が上昇

セグメント利益増減要因

- ・ 原油価格上昇によるコスト増加
- ・ エレクトロニクス関連：電子材料ガスの販売が好調



1-2. セグメント別業績：米国ガス事業

単位：億円			17/3月期 通期	18/3月期 通期	増減率
売上収益	産業ガス	バルク	549	689	+25.5%
		オンサイト	61	88	+43.5%
		パッケージガス	472	508	+7.7%
		ハードグッズ	284	329	+16.0%
		産業ガス 計	1,366	1,615	+18.2%
	エレクトロニクス	ガス	84	72	-14.1%
		機器・工事	21	38	+79.0%
		エレクトロニクス 計	105	110	+4.7%
	売上収益 合計	1,472	1,726	+17.2%	
	セグメント利益	120	135	+12.3%	

※円安での為替換算による影響

売上収益+27億円 セグメント利益+2億円

売上収益増減要因

- ・ Air Liquideから買収した事業による寄与 +138億円
- ・ バルク（主に炭酸ガスの出荷増）、パッケージガス、ハードグッズ等で増収

セグメント利益増減要因

- ・ Air Liquideから買収した事業が増益に貢献
- ・ バルク（主に炭酸ガスの出荷増）、パッケージガス、ハードグッズ等の増収による増益



1-2. セグメント別業績：アジア・オセアニアガス事業

単位：億円			17/3月期 通期	18/3月期 通期	増減率
売上収益	産業ガス	バルク	270	381	+40.9%
		オンサイト	26	29	+11.0%
		パッケージガス	47	55	+16.0%
		ハードグッズ	58	55	-4.5%
		機器・プラント	115	136	+18.1%
		産業ガス 計	519	658	+26.9%
	エレクトロニクス	ガス	267	310	+22.1%
		機器・工事	72	62	-13.4%
		エレクトロニクス 計	339	372	+14.0%
売上収益 合計			858	1,031	+20.1%
セグメント利益			51	92	+78.8%

※円安での為替換算による影響
売上収益 +38億円 セグメント利益 +3億円

売上収益増減要因

- ◆産業ガス関連
 - ・ Supagas社（豪州）の連結効果 +91億円
 - ・ 中国、タイで産業ガスの増収
- ◆エレクトロニクス関連
 - ・ 中国・台湾・韓国で電子材料ガスの販売が好調

セグメント利益増減要因

- ◆産業ガス関連
 - ・ Supagas社（豪州）の連結効果 +16億円
 - ・ 中国、タイの産業ガスの増収による増益
- ◆エレクトロニクス関連
 - ・ 中国・台湾・韓国で電子材料ガスの販売が好調

1-2. セグメント別業績：サーモス他事業

単位：億円			17/3月期 通期	18/3月期 通期	増減率
売上収益	サーモス	国内	207	213	+3.0%
		アジア	39	40	+1.2%
		サーモス 計	246	253	+2.7%
	その他		23	25	+11.5%
	売上収益 合計		270	279	+3.5%
セグメント利益			100	83	-16.5%

※円安での為替換算による影響

売上収益 +3億円 セグメント利益 +1億円

売上収益増減要因

- ◆サーモス事業
 - ・国内：ケータイマグを中心に販売は堅調に推移
 - ・海外：韓国では販売チャネル拡大により増収

セグメント利益増減要因

- ◆サーモス事業
 - ・国内：経費（主に広告宣伝費）増加による減益
 - ・海外：持分法適用のグループ会社の業績は低調



2-1. 2019年3月期 通期業績予想

単位：億円	18/3月期 通期実績 利益率	19/3月期 通期予想 利益率	前期比 増減率
売上収益	6,462	6,700	+238 +3.7%
コア営業利益	600 9.3%	640 9.6%	+40 +6.6%
非経常損益	-1	5	+6
営業利益	598 9.3%	645 9.6%	+47 +7.7%
金融損益	-39	-45	-6
税引前利益	558	600	+42
法人所得税	51	180	+129
当期利益	507	420	-87
(当期利益の帰属)			
親会社の所有者に帰属する当期利益	489 7.6%	400 6.0%	-89 -18.2%
非支配持分に帰属する当期利益	18	20	+2

● 想定為替レート (USD→円) : 105円 ※2018年3月期 通期レート 110.70円

● 2018年3月期では、米国子会社で繰延税金負債の取崩しが発生し、法人所得税が122億円減少



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

2-2. 2019年3月期 セグメント別通期業績予想

【売上収益】

単位：億円	18/3期 通期実績	19/3期 通期予想	増減率
国内ガス事業*	3,450	3,600	+4.3%
米国ガス事業	1,726	1,750	+1.4%
アジア・オセアニアガス事業	1,031	1,070	+3.7%
サーモス事業*	253	280	+10.4%
合計	6,462	6,700	+3.7%

【営業利益】

単位：億円	18/3期 通期実績	19/3期 通期予想	増減率
国内ガス事業*	313	318	+1.3%
米国ガス事業	135	140	+3.3%
アジア・オセアニアガス事業	92	107	+15.9%
サーモス事業*	77	93	+20.0%
消去又は全社	-18	-18	-
コア営業利益 計	600	640	+6.6%
非経常損益	-1	5	-
営業利益 計	598	645	+7.7%

*2019年3月期より「サーモス他事業」セグメントに計上されていたサーモス事業以外の他事業を「国内ガス事業」セグメントへ移管します。

上記「2018年3月期通期実績」の表示では、比較基準を揃えるために、移管後の数値を記載しております（移管額：売上収益 26億円、コア営業利益 6億円）

(参考資料)



非経常収益・費用明細

単位：億円	17/3月期 実績	18/3月期 実績	前期比
コア営業利益	547	600	+53
非経常損益	-10	-1	+9
営業利益	536	598	+62

【非経常収益・費用明細】

17/3月期 実績		18/3月期 実績	
明細	金額	明細	金額
国内土地売却益	+8億円	国内土地売却益	+12億円
アジア土地売却益	+2億円	alfi事業再構築関連費用 (サーモス)	-10億円
持分法投資簿価減損 (米国)	-19億円	関係会社拠点集約費用	-2億円
国内遊休土地減損	-1億円	豪州子会社統合費用	-1億円
その他	-0億円	その他	-0億円
合計	-10億円	合計	-1億円

重要経営指標（連結）

	17/3月期 実績	18/3月期 実績	19/3月期 予想
基本的 1 株当たり当期利益	80.28円	113.04円	92.43円
ROE	10.3%	13.3%	9.6%
ROCE	8.4%	8.4%	8.5%
一株当たり年間配当金	20円	23円	24円
配当性向	24.9%	20.3%	26.0%
設備投資（工事ベース）	437.96 億円	625.69 億円	790.00 億円
投融資	1,020.34 億円	45.56 億円	-
減価償却費	400.48 億円	432.66 億円	470.00 億円
有利子負債残高	3,595.28 億円	3,269.59 億円	3,390.00 億円
純有利子負債残高	3,043.08 億円	2,749.68 億円	2,890.00 億円

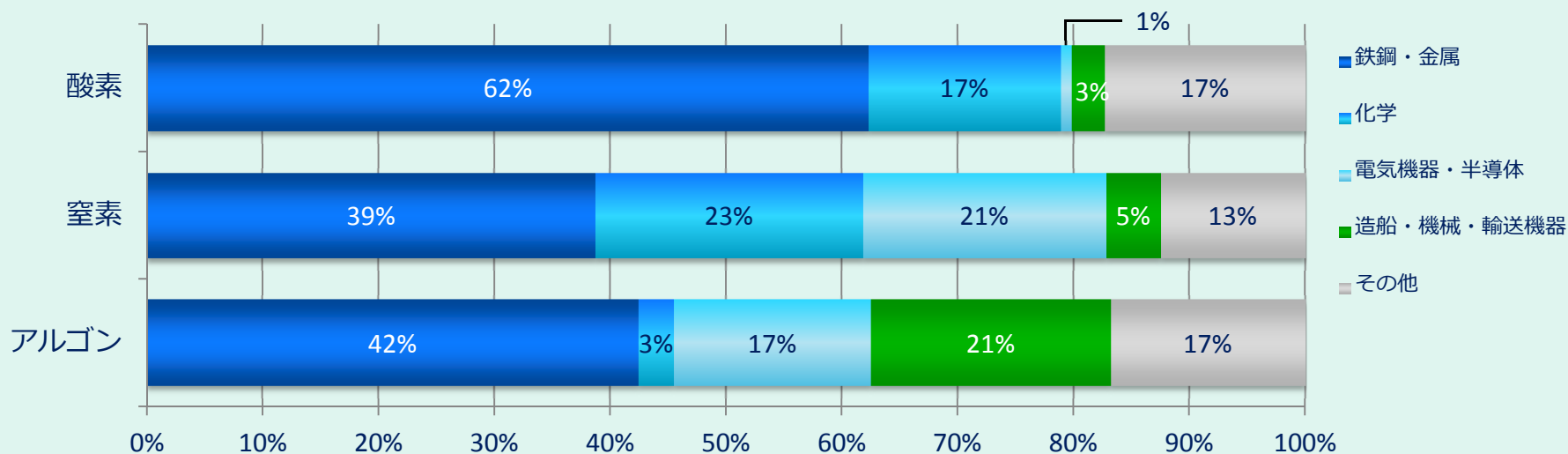
- 米国での税制改革法における連邦法人税率の引下げにより、法人所得税が大幅に減少する影響を除いた場合、「1株当たりの当期純利益 84.87円」「ROE 10.1%」「ROCE 8.5%」「配当性向 27.1%」となります。



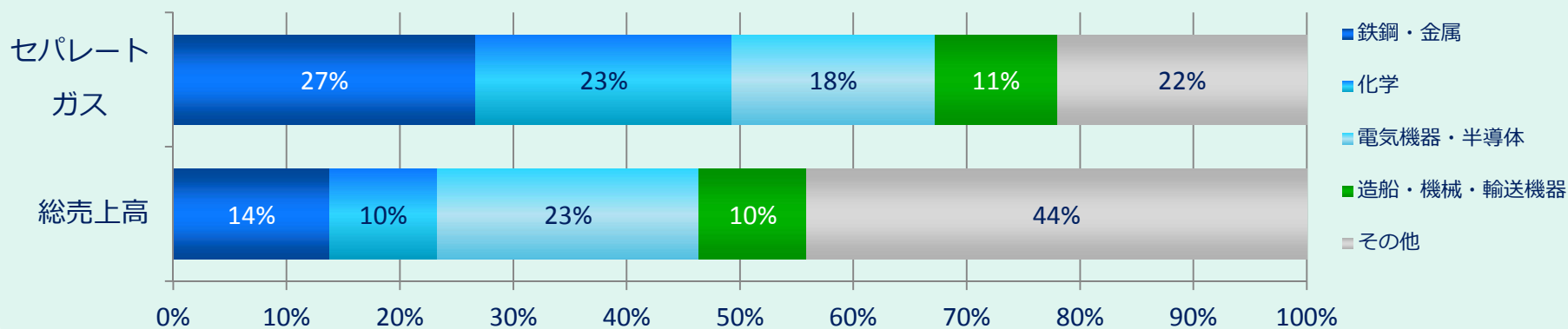
TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

業種別売上割合

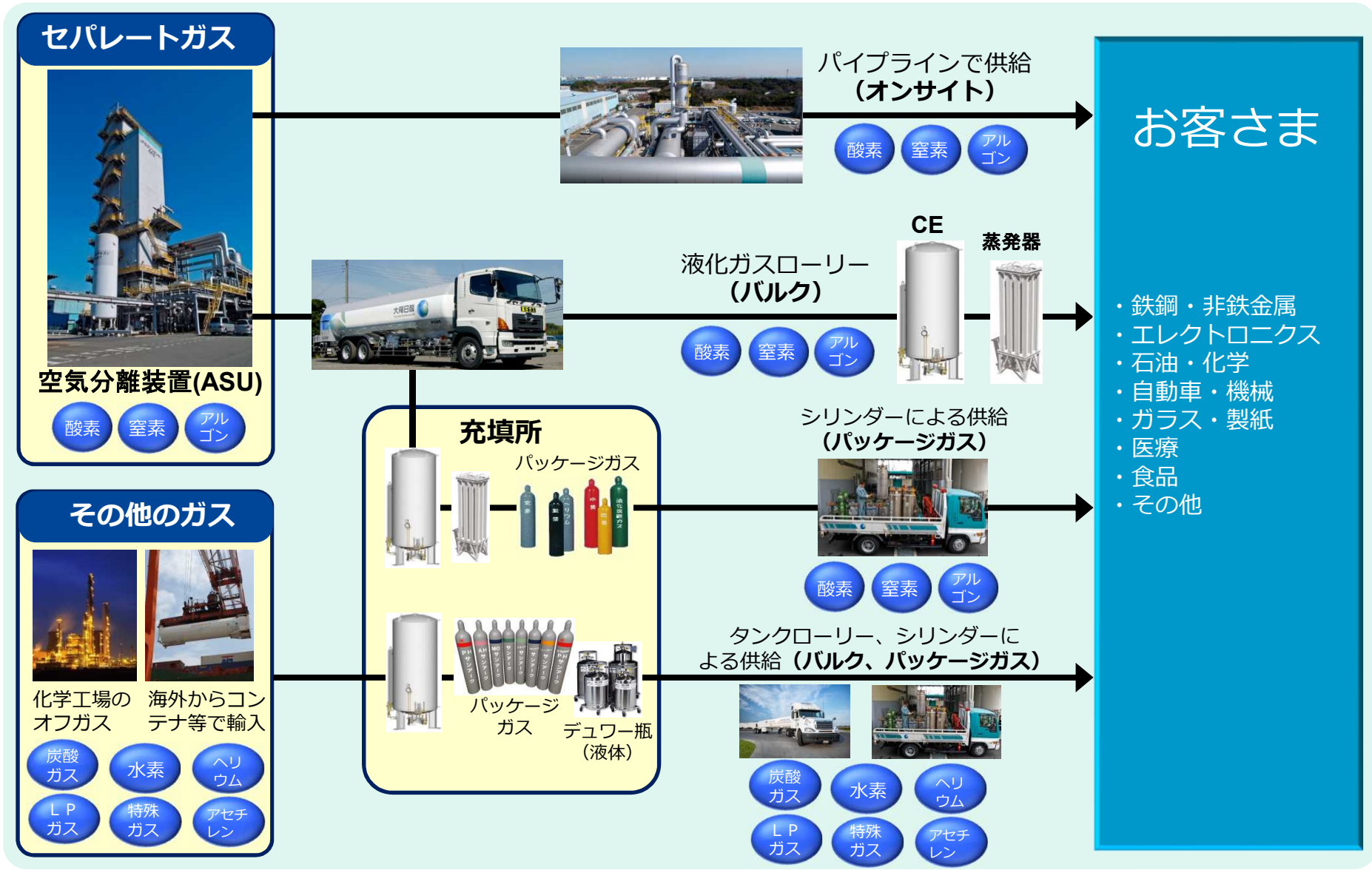
【業種別売上数量割合】



【業種別売上収益割合】



大陽日酸のガス供給体制



注意事項

- 本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料には将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されております。これらは現時点で入手可能な情報により当社が判断、想定したものであり、実際の業績はさまざまなリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度などがございますが、これらに限りません）を含んでおります。
- このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございまして、ことをお含みおきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますよう、お願い致します。

